



展開例	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
その他の展開例	③ いろいろな気持ちの友だちがいることを知り、どんな声かけをしたらいいか考える。	<input type="checkbox"/> 友だちのいろいろな表情を見て、どのように接していったらいいか考える。 <input type="checkbox"/> 怒っている顔、しょんぼりしている顔など。 <input type="checkbox"/> 友だちのことを理解する必要があることに気づく。 <input type="checkbox"/> 自分と友だちとの気持ちの違いに気づく。
	<div data-bbox="236 734 1264 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           教師：みんなは、こんな表情をしたことがあるかな。それはどんなときかな。         </div> <div data-bbox="236 815 810 1057" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【予想される幼児の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笑っている顔。楽しそう。</li> <li>・怒っている顔。腹をたてている。</li> <li>・泣いている顔。悲しそう。</li> <li>・困っている顔。迷っているのかな。</li> </ul> </div> <div data-bbox="236 1169 817 1317" style="margin-top: 10px;">           ② 日常の中で、「友だちカード」の中にあるような表情になったことはないか、また、友だちの表情から感じたことはないかなど、話し合う。         </div> <div data-bbox="236 1335 810 1532" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【予想される幼児の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の朝、うれしい顔になったよ。だってね、〇〇ちゃんが、遊ぼう！って誘ってくれたから。</li> </ul> </div> <div data-bbox="236 1576 1445 1671" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           教師：それはうれしかったね。だから、△△ちゃんはうれしい顔をしたのね。じゃあ、〇〇ちゃんは、△△ちゃんのうれしい顔を見て、どんな気持ちになったかな。         </div> <div data-bbox="236 1783 1177 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           教師：今の遊びで、友だちと話し合いたいことは、どんなことですか。            ・楽しいと感じたことは ・困ったことは         </div>	<div data-bbox="842 609 1445 680" style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> ♪「不思議なポケット」を歌い、ポケットから何が出てくるのか、期待感をもたせる。         </div> <div data-bbox="842 833 1445 1128" style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> いろいろな表情が見比べられるように「友だちカード」を並べて掲示する。  <input type="checkbox"/> 「友だちカード」の掲示は、年少児は喜怒哀楽の4枚から始めたりするなど、発達段階に応じた枚数にする。  <input type="checkbox"/> 話し合った後、「友だちカード」をよく見える場所に掲示し、自分の気持ちを「友だちカード」と照らし合わせられるようにする。         </div> <div data-bbox="842 1169 1445 1317" style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> 幼児が「友だちカード」を見て感じたことを丁寧に受け止めながら、人にはいろいろな感情があることに気づけるようにする。  <input type="checkbox"/> 発達段階に応じた話し合いにする。         </div> <div data-bbox="842 1357 1445 1464" style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> いろいろな感情を素直に表現してもよいことを知り、友だちの気持ちを感じる心を育てていく。         </div> <div data-bbox="842 1688 1445 1760" style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> 自分の思いばかりでなく、友だちの様子に気づき、考えられるよう丁寧に話し合う。         </div> <div data-bbox="842 1877 1445 2051" style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> 遊びの振り返りのときに、自分の気持ちを伝え合うことを通して、一日の中でも、様々な感情がわき起こることに気づいたり、そうした感情は自分だけでなく、友だちにもあることに気づいたりできるようにする。         </div>

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
そ の 他 の 展 開 例 ①	<p>③ 遊びの後の振り返りのとき（わかちあい）に、「友だちカード」を使い、話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しく歌ったよ。</li> <li>・ 2人でお山を作ったよ。</li> <li>・ よしてって言ったのによしてくれなかったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 遊びの中で感じた気持ちを「友だちカード」を用いて話し合い、自分の思いを振り返ったり相手の思いに気づいたりできるよう、丁寧に支える。</li> <li>□ 言葉で伝えると、相手に自分の思いがより伝わりやすいということに気づかせる。</li> <li>□ 幼児、特に年少児が迷って判断に困らないように、「友だちカード」の種類や数などについて配慮する。</li> </ul>
そ の 他 の 展 開 例 ②	<p>① ポケットの中から何が出てくるのか期待しながら、♪「不思議なポケット」のワンフレーズを歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教師：この友だちの表情を見て、みんなはどんなことを感じるかな。 この友だちは、どんなことを思っているのかな。何があったのかな。</p> </div> <p>② いろいろな表情から、自分や友だちの気持ちを考え、話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜びの表情 かけっこで一番になったのかな。</li> <li>・ 悲しい表情 お腹が痛いのかな。 けんかしたのかな。 足を踏まれたんだよね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ♪「不思議なポケット」を歌い、ポケットから何が出てくるのか、期待感をもたせる。</li> <li>□ それぞれの表情に対する幼児の思いを受け止めていく。</li> <li>□ 家庭や園での様子など今までの幼児の生活と重ね合わせていくような言葉かけをする。</li> <li>□ 幼児が、一日の中でもいろいろな表情が変化することに気づくようにする。</li> <li>□ 話し合う中で、自分の気持ちを表現したり、友だちの存在や気持ちに気づいたりできるようにする。</li> <li>□ 自分がどんな気持ちのときに、「友だちカード」のような表情になるのかを思い出させることができるようにする。</li> <li>□ 提示された「友だちカード」のような表情を友だちがしたときは、どんな気持ちなのか考えさせる。</li> </ul>
資 料 の 活 用 に つ い て	<p>○「友だちカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ表情でも、幼児一人一人の感情の読み取りは違う。幼児に「友だちカード」を見せて、いろいろな感情のとらえ方があることを、共有できるようにする。</li> <li>・ 一日の生活の振り返りをするときや、問題解決の場面で、それぞれの幼児の感情の整理をしたり、その気持ちを共有したりするときに活用し、実生活の中で生かせるようにする。</li> <li>・ 「友だちカード」の表情を読み取り、気持ちを言葉で表せるようにする。</li> </ul>	